

2008年11月7日

2009年(平成21年)3月期
第2四半期累計期間
(2008年4月～9月)
決算説明資料

東レ株式会社

I. 2009年3月期

第2四半期累計期間(2008年4月～9月)

決算概要(連結)

- ・連結業績の概要(収益) (P4)
- ・営業外収支 (P5)
- ・特別損益 (P6)
- ・連結業績の概要(財政状態) (P7-8)
- ・設備投資額・減価償却費 (P9)
- ・事業セグメント別業績 (P10-16)
- ・事業セグメント別1Q時見通し
と実績比較 (P17)
- ・営業利益増減要因分析 (P18)
- ・主要子会社収益状況 (P19)
- ・研究開発費・従業員数 (P20)
- ・関係会社の異動 (P21)

II. 2009年3月期業績見通し(連結)

- ・連結業績見通し (P23)
- ・事業セグメント別業績見通し (P24)
- ・設備投資額・減価償却費・
研究開発費見通し (P25)

I . 2009年3月期
第2四半期累計期間
(2008年4月～9月)
決算概要(連結)

連結業績の概要(収益)

Innovation by Chemistry
億円

	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月) 実績	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月) 実績	増減	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月) 1Q時見通し	1Q時見通し との差異
売上高	8,023	8,009	-15 (-0.2%)	7,900	+109
売上原価	6,427	6,519	+92 (+1.4%)		
売上総利益	1,596	1,489	-107 (-6.7%)		
(売上高総利益率)	19.9%	18.6%	-1.3 ポイント		
販売費及び 一般管理費	1,156	1,186	+31 (+2.7%)		
(売上高販管費比率)	14.4%	14.8%	+0.4 ポイント		
営業利益	440	303	-137 (-31.2%)	250	+53
(売上高営業利益率)	5.5%	3.8%	-1.7 ポイント		
営業外収支	▲22	▲28	-6		
経常利益	419	275	-144 (-34.3%)	220	+55
特別損益	▲30	▲48	-17		
税前利益	389	227	-161 (-41.5%)		
四半期純利益	230	105	-125 (-54.2%)	70	+35

為替レート	原油価格
<円/US\$>	<US\$/バレル> (DUBAI FOB)
(08/3 2Q累計) → (09/3 2Q累計)	(08/3 2Q累計) → (09/3 2Q累計)
期中平均 : 119.3 → 106.1	期中平均 : 67.4 → 115.1
期末 : 115.4 → 103.6	期末 : 162.3 → 162.7
	期末 : 163.4 → 149.1

(注1) 3月期決算会社は4~9月の業績、12月期決算会社は1~6月の業績を連結
(注2) 1Q時見通しとは2009年3月期第1四半期決算発表時(8月6日)の見通しです。

営業外収支

億円

	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	特記事項
営業外収益	96	86	-11	
受取利息及び配当金	22	20	-1	
持分法による投資利益	32	38	+6	
雑収入	43	28	-15	為替差益の減少等
営業外費用	▲ 118	▲ 114	+4	
支払利息	▲ 54	▲ 55	-1	
雑損失	▲ 63	▲ 58	+5	
営業外収支	▲ 22	▲ 28	-6	
金融収支	▲ 33	▲ 35	-2	
雑収支	▲ 20	▲ 30	-10	

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益



Innovation by Chemistry

億円

	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	特記事項
特別利益	45	22	-23	
有形固定資産売却益	3	5	+2	
投資有価証券売却益	18	17	-1	
その他	24	-	-24	
特別損失	▲ 75	▲ 69	+6	
有形固定資産処分損	▲ 18	▲ 18	+1	
減損損失	▲ 47	-	+47	
投資有価証券評価損	▲ 0	▲ 6	-6	
関係会社事業損失	▲ 0	▲ 28	-28	子会社の統合に伴う損失
たな卸資産評価損	-	▲ 12	-12	会計基準の変更に伴うもの
その他	▲ 10	▲ 6	+4	
ネット特別損益	▲ 30	▲ 48	-17	

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

連結業績の概要(財政状態)

億円

	08年3月末	08年9月末	増減	特記事項
資産合計	16,982	16,902	-80	
流動資産	7,332	7,508	+176	たな卸資産の増加等
有形固定資産	6,810	6,665	-145	為替換算の影響等
無形固定資産	149	114	-35	
投資その他	2,692	2,615	-76	

	08年3月末	08年9月末	増減	特記事項
負債合計	10,561	10,753	+193	
流動負債	5,449	5,483	+33	
固定負債	5,111	5,271	+159	長期借入金の増加等
純資産合計	6,422	6,148	-273	
有利子負債残高 ^{*1}	5,912	6,500	+588	
D/Eレシオ ^{*2}	1.00	1.15	+0.15	

*1 08年9月末はリース債務を含む

*2 有利子負債残高/自己資本(=純資産-少数株主持分)

連結業績の概要(財政状態)

億円

	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
ROE ^{*1}	7.6%	3.6%	-4.0 ポイント
ROA ^{*2}	5.2%	3.6%	-1.6 ポイント

*1 ROE=四半期純利益/自己資本 *2 ROA=営業利益/総資産
注)ROE、ROAはいずれも年換算値

<フリー・キャッシュ・フロー明細>

	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
営業活動	289	19	-270 (-93.5%)
投資活動	▲831	▲604	+228
フリー・キャッシュ・フロー	▲542	▲585	-43

設備投資額・減価償却費

億円

	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	特記事項
設備投資額	618	432	-185	東レ:167、国内:39、海外:226
減価償却費 ー)	424	413	-11	東レ:194、国内:57、海外:162
振替・除却等	73	▲ 165	-237	
有形固定資産増減	267	▲ 145		

主な設備投資：

<国内> 東レ	: 炭素繊維設備(石川)	2009年1月稼働予定
<海外> SOFICAR	: 炭素繊維設備(フランス)	2008年12月稼働予定
CFA	: 炭素繊維設備(米国)	2008年12月稼働予定

事業セグメント別業績(売上高／営業利益)

Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益		
	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
繊維	3,209	3,005	-204 (-6.4%)	100	62	-38 (-37.7%)
プラスチック・ケミカル	1,994	2,194	+200 (+10.0%)	90	82	-7 (-8.4%)
情報通信材料・機器	1,387	1,312	-76 (-5.5%)	128	96	-32 (-24.9%)
炭素繊維複合材料	399	381	-18 (-4.5%)	82	56	-26 (-31.7%)
環境・エンジニアリング	711	804	+93 (+13.0%)	25	2	-22 (-90.3%)
ライセンスその他	323	313	-10 (-3.1%)	24	8	-17 (-69.1%)
(内医薬・医療材)	224	221	-2 (-1.1%)	8	▲7	-15 (-)
計	8,023	8,009	-15 (-0.2%)	448	306	-142 (-31.7%)
消去又は全社				▲8	▲3	+5
連結	8,023	8,009	-15 (-0.2%)	440	303	-137 (-31.2%)

事業セグメント別業績(繊維)



Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	
東レ	625	564	-60 (-9.7%)	30	0	-30 (-)	産業用途が概ね堅調に推移したものの、衣料用途は衣料品需要の不振を背景に荷動きの鈍い状況が続いた。また、急速に進む原燃料価格上昇によるコストアップを、価格転嫁や高付加価値品へのシフトでは、この上期にはカバーし切れず、減収減益。
国内	1,523	1,416	-107 (-7.0%)	45	40	-6 (-12.4%)	商事子会社が、国内需要不振の影響や、円高による輸出採算悪化等もあり、減収減益。
海外	1,062	1,025	-37 (-3.4%)	30	25	-4 (-14.9%)	欧州の人工皮革事業やタイのエアバッグ用繊維・織物事業などが好調に推移するも、衣料用テキスタイルの販売量が落ち込み、減収。また、中国子会社が、原燃料費や労務費等のコストアップの影響を受けたこと等により、海外子会社全体で減益。
修正				▲ 5	▲ 3	+3	
計	3,209	3,005	-204 (-6.4%)	100	62	-38 (-37.7%)	

<主要関係会社>

国内：東レインターナショナル、一村産業、蝶理 他

アジア：PENFABRIC(マレーシア)、LUCKYTEX(タイ)、ITS(インドネシア)、TFNL(中国) 他

欧米：ALCANTARA(イタリア) 他

事業セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	
東レ	434	461	+26 (+6.1%)	12	▲ 5	-17 (-)	樹脂事業では自動車用途が堅調に推移し、東海工場で生産能力を強化したPPS樹脂も売上を拡大。フィルム事業も太陽電池用途やハイブリッドカー向けコンデンサー用途で売上を拡大し、増収。一方、原燃料価格高騰やABS樹脂設備の定期修繕の影響によるコストアップ等により、減益。
国内	693	811	+118 (+17.0%)	49	59	+10 (+20.2%)	商事子会社が順調に売上を拡大したほか、ファインケミカル子会社も堅調に推移し、増収増益。
海外	867	922	+56 (+6.4%)	29	25	-4 (-14.4%)	マレーシアの樹脂子会社でABS樹脂の増設設備が稼働を開始したことに加え、韓国のフィルム子会社が拡販を進め増収となるも、欧州のフィルム子会社が現地通貨高、原燃料価格高騰の影響を受けたこと等により、減益。
修正				▲ 1	3	+4	
計	1,994	2,194	+200 (+10.0%)	90	82	-7 (-8.4%)	

<主要関係会社>

国内： 東レフィルム加工、東レ・ファインケミカル、曾田香料、蝶理 他

海外： TPA(アメリカ)、TPM(マレーシア)、TPEu(フランス)、TSI(韓国) 他

事業セグメント別業績(情報通信材料・機器) 'TORAY'

Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	
東レ	568	600	+32 (+5.6%)	66	50	-16 (-24.1%)	PETフィルムがフラットパネルディスプレイ用途やデータストレージ用途で売上を伸ばし、液晶カラーフィルターや半導体コーティング材料が好調に推移したこと等により、増収。一方、回路材料や印写材料が低迷したことに加え、電子部品用フィルムの需要も鈍化し、原燃料価格高騰の影響等もあり、減益。
国内	435	353	-82 (-18.9%)	47	26	-21 (-45.3%)	IT関連機器子会社のカラーフィルター製造装置の売上減少を主因に減収減益。
海外	384	358	-25 (-6.6%)	14	18	+5 (+33.4%)	韓国のフィルム子会社が、磁気材料の売上を減少させたこと等により、減収となるも、同じく韓国の回路材料子会社が堅調に売上を伸ばしたことを主因に増益。
修正				1	2	+1	
計	1,387	1,312	-76 (-5.5%)	128	96	-32 (-24.9%)	

<主要関係会社>

国内: 東レエンジニアリング、東レフィルム加工 他

海外: TPA(アメリカ)、TPEu(フランス)、TSI(韓国)、STEMCO(韓国) 他

事業セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	
東レ	378	272	-106 (-28.1%)	38	23	-15 (-39.8%)	スポーツ用途では自転車向け、産業用途では欧州向け高機能炭素繊維が好調に推移。一方、スポーツ用途のゴルフ、釣竿用アジア向けが低調に推移し、また、前年同期にあった機械輸出が無くなったこと等の特殊要因により、減収。また、原燃料価格高騰の影響や08年1月に稼働を開始した炭素繊維生産設備の償却負担増に加え、円高の影響もあり、減益。
国内	239	199	-41 (-16.9%)	3	2	-1 (-47.2%)	
海外	332	341	+9 (+2.7%)	46	30	-16 (-35.3%)	産業用途が堅調に推移するも、原燃料価格高騰の影響に加え、07年8月に稼働を開始した欧州の炭素繊維生産設備の償却負担増等もあり、増収ながら減益。
修正	▲ 550	▲ 430	+120	▲ 5	2	+7	
計	399	381	-18 (-4.5%)	82	56	-26 (-31.7%)	

<主要関係会社>

国内：東レインターナショナル

海外：SOFICAR(フランス)、CFA(アメリカ)、TCA(アメリカ)

本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

事業セグメント別業績(環境・エンジニアリング)



Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	
東レ	42	37	-4 (-10.4%)	▲ 1	▲ 9	-8 (-)	RO膜やMBRが欧米・中東を中心に順調に受注を拡大し、また、家庭用浄水器も堅調に推移するも、円高による輸出分の手取り減少に加え、事業拡大に伴う費用増もあり、減収減益。
国内	668	755	+86 (+12.9%)	30	14	-16 (-52.0%)	商事子会社の機械輸出が好調に推移し、増収となるも、エンジニアリング子会社が前年同期比で工事案件が減少したほか、水処理エンジニアリング子会社の採算悪化もあり、減益。
海外	2	12	+11 (+682.6%)	▲ 3	▲ 3	-0 (-)	昨年度に新たに設立した米国水処理子会社が順調に売上を伸ばした。
修正				▲ 2	▲ 0	+1	
計	711	804	+93 (+13.0%)	25	2	-22 (-90.3%)	

<主要関係会社>

国内：東レ建設、東レエンジニアリング、東レACE、水道機工 他

事業セグメント別業績(ライフサイエンスその他)



Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	
東レ	48	37	-11 (-22.7%)	2	▲ 17	-19 (-)	医薬・医療材 薬価および償還価格の改定による販売価格の下落や競争激化など厳しい市場環境のなかで、人工腎臓が販売量を伸ばし、医薬・医療材事業全体では、売上高はほぼ横這いとなるも、販売価格下落の影響に加え、ライセンス収入の減少もあり、減益。 その他 商事子会社が低調に推移したことに加え、分析サービス子会社の半導体分野での受注減等により、減収減益。
国内	268	266	-2 (-0.6%)	20	16	-5 (-22.7%)	
海外	7	9	+2 (+36.6%)	1	1	+0 (+12.6%)	
修正				2	8	+6	
計	323	313	-10 (-3.1%)	24	8	-17 (-69.1%)	
(内医薬・医療材)	224	221	-2 (-1.1%)	8	▲ 7	-15 (-)	

<主要関係会社>

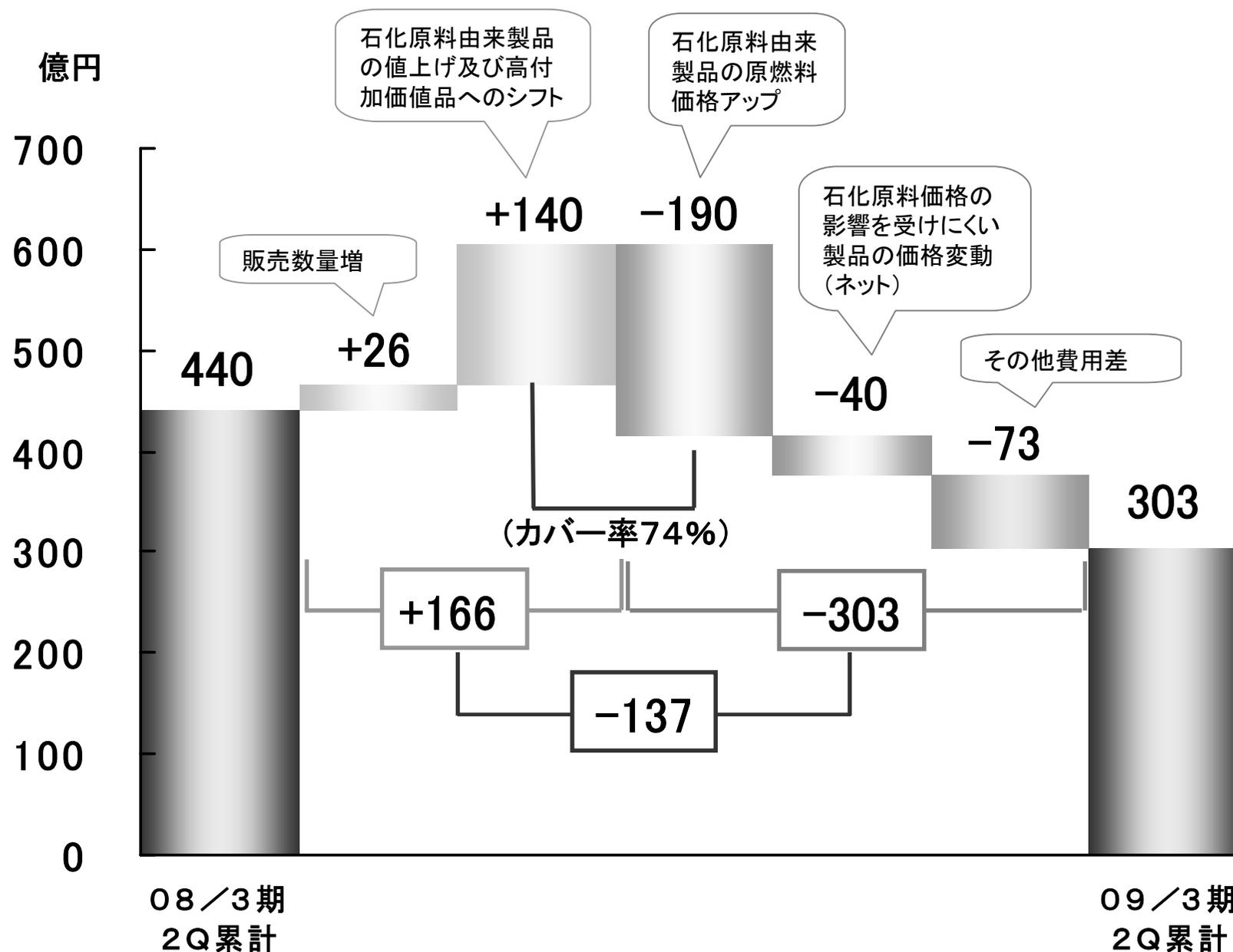
国内：東レ・メディカル、東レリサーチセンター、東レエンタープライズ 他

事業セグメント別1Q時見通しと実績比較

事業セグメント	第2四半期累計営業利益 1Q時見通し→実績 ()内差異	増減益要因
繊維	50→62 (+12)	<ul style="list-style-type: none"> • 価格転嫁と高付加価値品へのシフトを推進。 • 費用削減、生産効率改善によるコスト削減を推進。
プラスチック ・ケミカル	65→82 (+17)	<ul style="list-style-type: none"> • 樹脂を中心に価格転嫁と高付加価値品へのシフトを推進。 • 国内商事子会社の中国向け化成品並びにファインケミカル子会社の食品香料が好調に推移。
情報通信材料 ・機器	80→96 (+16)	<ul style="list-style-type: none"> • IT関連フィルムを中心に価格転嫁と高付加価値品へのシフトを推進。 • 国内エンジニアリング子会社で費用削減を推進。
炭素繊維 複合材料	50→56 (+6)	<ul style="list-style-type: none"> • 高付加価値品拡販によるプロダクトミックスの改善。 • 費用削減。
環境・エンジニアリング	0→2 (+2)	<ul style="list-style-type: none"> • 水処理事業で、費用削減、生産効率改善によるコスト削減を推進。 • 国内エンジニアリング子会社、建設子会社による費用削減。
ライフサイエンス その他	10→8 (-2)	<ul style="list-style-type: none"> • 医薬品が競争激化の影響を受けて低調に推移。
消去または全社	▲5→▲3 (+2)	
連結	250→303 (+53)	

* 1Q時見通しとは2009年3月期第1四半期決算発表時(8月6日)の見通しです。

営業利益増減要因分析



主要子会社収益状況



Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益		
	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
東レインターナショナル*1	2,102	2,046	-56	33	30	-3
東レエンジニアリング	546	432	-114	47	32	-15
東レ建設	203	228	+25	6	4	-3
東レフィルム加工	224	241	+16	19	11	-8
東レ・メディカル	173	179	+6	5	2	-3
TSI(韓国)	445	434	-11	27	22	-5
TPM(マレーシア)	293	368	+75	8	3	-5
在東南アジア・子会社 *2						
繊維	593	564	-30	9	10	+0
プラスチック・ケミカル	338	413	+75	9	8	-1
その他	40	50	+10	▲0	0	+0
計	972	1,027	+55	18	17	-1
在中国・子会社 *3						
繊維	411	404	-7	5	▲4	-9
プラスチック・ケミカル	232	239	+7	4	3	-0
その他	76	66	-10	5	4	-2
計	719	709	-10	14	2	-11
在外・フィルム子会社 *4						
プラスチック・ケミカル	444	454	+10	10	12	+2
情報通信材料・機器	219	196	-23	19	14	-5
計	663	649	-13	29	26	-3

*1: 東レインターナショナルは、08年4月1日付で東レアイリーブと東レフィッシングを統合、上記は両社を含む数字

*2: ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、Penfibre、PAB-G、TTS、LTX、TTTTM、TPM 単純合計

*3: TFNL、TSD、TAK/TAZ、TJQ、TPN、TCH、TSL、THK-G、TPHK/TPSZ、RKH/RKZ、TFH/TFZ 単純合計

*4: TSI(フィルム・電材)、Penfibre(フィルム)、TPA、TPEu、TFH/TFZ 単純合計

研究開発費・従業員数

研究開発費

億円

	08年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
東レ単体	177	205	+28
連結子会社	49	51	+2
連結ベース	226	256	+30

従業員数

人

	07年9月末	08年3月末	08年9月末	前期末比増減
東レ単体	7,262	7,234	7,547	+313
国内連結子会社	9,828	9,788	10,048	+260
海外連結子会社	20,949	21,543	21,386	- 157
合計	38,039	38,565	38,981	+416

関係会社の異動

		08年3月末	08年9月末	増減
連結子会社 (a)	国内	66	60	-6
	海外	78	77	-1
	計	144	137	-7
持分法適用子会社 (b)	国内	34	31	-3
	海外	21	22	+1
	計	55	53	-2
子会社計 (a) + (b)	国内	100	91	-9
	海外	99	99	±0
	計	199	190	-9
持分法適用関連会社 (c)	国内	12	13	+1
	海外	27	26	-1
	計	39	39	±0
連結対象会社 合計 (a) + (b) + (c)	国内	112	104	-8
	海外	126	125	-1
	計	238	229	-9

Ⅱ. 2009年3月期 業績見通し(連結)

連結業績見通し



Innovation by Chemistry

億円

	08年3月期 実績	09年3月期 1Q時見通し	09年3月期 今回見通し	対前年比増減
売上高	16,497	17,000	17,000	+503 (+3.1%)
営業利益	1,034	750	750	-284 (-27.5%)
経常利益	915	700	700	-215 (-23.5%)
当期純利益	481	300	300	-181 (-37.6%)

1株当たり 当期純利益	34.3円	21.4円	21.4円
1株当たり 配当金	10.0円	10.0円	10.0円
配当性向	29.1%	46.7%	46.7%

備考：為替レート的前提は、100円/US\$（10月以降）
原油価格見通しは、75US\$/B(DUBAI FOB)（10月以降）

* 1Q時見通しとは2009年3月期第1四半期決算発表時（8月6日）の見通しです。

事業セグメント別業績見通し(売上高/営業利益) **TORAY**

Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益		
	08年 3月期	09年 3月期	増減 (%)	08年 3月期	09年 3月期	増減 (%)
繊維	6,373	6,200	-173 (-2.7%)	214	120	-94 (-43.8%)
プラスチック・ケミカル	4,040	4,500	+460 (+11.4%)	207	170	-37 (-17.9%)
情報通信材料・機器	2,837	2,800	-37 (-1.3%)	298	230	-68 (-22.7%)
炭素繊維複合材料	836	900	+64 (+7.7%)	181	140	-41 (-22.6%)
環境・エンジニアリング	1,732	1,950	+218 (+12.6%)	98	70	-28 (-28.2%)
ライフサイエンスその他	678	650	-28 (-4.1%)	63	40	-23 (-36.5%)
(内医薬・医療材)	484	480	-4 (-0.7%)	28	20	-8 (-28.1%)
計	16,497	17,000	+503 (+3.1%)	1,060	770	-290 (-27.3%)
消去又は全社				▲ 25	▲ 20	+5
連結	16,497	17,000	+503 (+3.1%)	1,034	750	-284 (-27.5%)

設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し



Innovation by Chemistry

設備投資額

億円

	08/3月期 実績	09/3月期 期初見通し	09/3月期 今回見通し	対前年比 増減	09/3月期 期初見通し との差異
東レ単体	585	680	550	- 35	- 130
連結子会社	898	520	450	- 448	- 70
連結ベース	1,483	1,200	1,000	- 483	- 200

減価償却費

億円

	08/3月期 実績	09/3月期 期初見通し	09/3月期 今回見通し	対前年比 増減	09/3月期 期初見通し との差異
東レ単体	396	440	420	+24	- 20
連結子会社	454	460	450	- 4	- 10
連結ベース	851	900	870	+19	- 30

研究開発費

億円

	08/3月期 実績	09/3月期 期初見通し	09/3月期 今回見通し	対前年比 増減	09/3月期 期初見通し との差異
東レ単体	356	430	420	+64	- 10
連結子会社	102	100	100	- 2	-
連結ベース	458	530	520	+62	- 10

本資料中の2009年3月期の業績見
通し及び事業計画についての記述
は、現時点における将来の経済環境
予想等の仮定に基づいています。
本資料において当社の将来の業績
を保証するものではありません。